

# 江工会会報

発行所  
江 工 会

島根県江津市江津町1477  
島根県立江津工業高校内  
電話(代) 0855-52-2120  
郵便番号 〒 695-0011

## 激動の年を迎えて

会 長 室 安 延 博

(建築科 昭和三十一年卒業)



会員の皆様  
新年明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、例年にない気候変動により世界各地で温暖化現象(スーパー猛暑)で工業、農業は基より経済状況にもその影響を及ぼした年でありました。

二〇〇八年の世界金融危機以降長引く景気の低迷は、特に国内企業においては、先行きに対する見通しが立たず委縮傾向となり、結果的に雇用や生産に慎重になってい

ます。特に経済面においては、円高・株の低迷・企業の海外進出・リストラ等による失業者の増大に加え、新卒者に対する求人率の低下は、母校の卒業生にも多大な影響を及ぼしています。国内で、高く成長を見るのはスカイツリーの

み。世界的には、チリに於いて地下七百メートルから33名の無事生還と「上と下」の出来事は目を見張ることもありました。

政界は政権交代後、初めて「新成長戦略」として予算編成された一般会計総額92.4兆円が閣議決定されましたが、捻じれ国会故に関連法案をどう対処するかで難産しそうです。私た国民生活に直結する案件がどのように活かされるか期待したいものです。

地域に於いては、横田学さん(本校卒江津支部事務局長)は既に会報でも紹介しましたが、島根県産業人材育成西部地区コーディネーターとして「活力ある島根をめざして」活躍されています。各支部の会員の皆様、ぜひご支援とご相談をいただきたく存じます。

さて、江工会各支部は既に結成され総会にも出席させて頂いた九州支部・浜田支部を含め7支部で活動されています。今後は各支部間の交流が出来れば、より幅広い江工会組織となることと思います。結びに、校訓に倣い不撓不屈精神を持って、厳しい年にあたり会員の皆様の益々のご健勝をお祈り致します。

## ご 報 告

会 長 濱 田 清 行



江工会員の皆様には、新春をお元気で迎えること

とお慶び申し上げます。平素より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚く

お礼申し上げます。

本年度は、入学者数が三十分に百名を超えました。しかし定員は百二十名です。満足することなく江工の良さをPRしていきたいと思ひます。

教育活動につきましては、

三つの科がそれぞれ持ち味を出し頑張っています。建築科は江津本町の活性化を地元住民の方と協同し、若者が集う空家改修を行なっています。

機械科は、旋盤の技能士を取得したり、シーケンス制御の検定に挑戦しています。総合電気科は、先輩たちが製作した風力及び太陽光発電装置の負荷(LEDの大型時計や電

光掲示板)を製作しています。そして、それらを統合したものが、今年を最終年度とする

文部科学省の指定事業「目指せスペシャリスト」です。この事業の全国発表会が、去る十一月に茨城県つくば市で開催され、生徒三名・教員一名

が見事な発表を行いました。さらに、自動車部がリッター

カー広島大会で優勝し、情報電子部は相撲ロボット全国大会でベスト十六になりました。



富士山と五湖の眺望 (関東支部提供)

### 関西支部

#### 『長生き』の秘訣

支部長 橋 目 福 司  
(建築科 昭和三十九年卒業)



江工会の会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年も政治・経済に加え国境問題も新たに顕在化するなど、わが国を取り巻く環境も予断を許さない状況になっていきます。景気も先行きも業種によって見方は違いますが、年頭の挨拶で厳しいと考えている経営者が大半のようです。

うか？気持ちだけは卒業当時のままでと思います。今年も先生及び皆が元気で出席することを約束して散会しました。関西支部は今年で五十五回を迎えます。五年毎の節目には『石見神楽』を招待して盛大に開催したいと考えています。我々支部部員は、これを途絶えることなく継続することが最も重要なことと考えます。今まで蓄積されたノウハウを後輩に伝承して頂く意味でも支部総会には是非共参加して頂きたいと思えます。

昨年も同窓の集まりを書きました。昨年は皆生温泉のとなり？の日吉津温泉うなばら荘にて恩師小谷先生に出席して頂き十四名にて開催しました。小谷先生は九十に近いお年になっておられますが、大山の散策時には我々よりも健脚で年を感じさせない動きにビックリした自身が情けなくなったりしました。

毎年のことですが、関西支部では総会の案内発送数が年々減少しています。住所変更の連絡がないために案内が返送されることが多くなっております。昨年の発送数は三百名となっております。同窓会を計画されておられるグループが御座いましたら、総会を兼ねての開催をお願いいたします。この会報をご覧になられた方で住所を変更された会員の方は是非とも連絡をして頂きますようお願い致します。

小谷先生に質問『健康で長生きの秘訣は？』先生談『年を勘定せんことや』とのことでした。会員の皆さんも年を勘定せずに生活できるでしょ

最後にりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げますと共に今後とも関西支部の活躍にご指導、ご協力をお願い致します。

まれるところです。

母校の活躍の光る年でした。千葉国体にボート部、弓道部の出場ならびに活躍をリアルタイムでホームページに掲載し会員に情報提供しました。

目指せスペシャリスト発表会及び、ロボット相撲全国大会、エコカーレース大会の初優勝、母校の部活の素晴らしい活躍の八月から十月でした。



今年度の関東支部総会は、三月十三日(日)アルカディア市谷「私学会館」にて開催します。アトラクションに美郷町(旧大和村)の都(みやこ) 神楽団の出演を企画、会員および家族の相互交流を図っていきます。

今年度は、役員改選期に当たり、若手へシフトしていきます。今後も関東支部のご支援・ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

江工会本部を中心に各支部の活躍、相互の交流が図られることを期待しております。終わりに、江工会会員皆様方の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。

関東支部も新生され、早や十九年目を迎えます。関東支部の活動方針は「会員の情報場と位置付け支部活動の多様化と総会等の活性化を図る」であります。この意を受けホームページを一新しました。

昨年度の活動は、ゴルフ会、釣り、ハイキング等、会員の皆さんの身近な会(支部)として活動をしていました。

春、新会員の歓迎会を隅田川のぼり、浅草三社祭りに行き卒業生を歓迎することが出来、会員の増員が出来たこと嬉しく思っております。

ハイキングでは、「東海自然歩道をたどり富士山と五胡の眺望を楽しむ」天候に恵まれた河口湖や西湖周辺を散策し、雲が少しかかった状況でありましたが、富士山の眺望を十分満喫した様です。

ゴルフは例年通り春秋の二回開催、久しぶり参加いたしました。つりについては二回の計画でしたが、春の一回のみ、同好会員の参加が少なくやむなく中止、会員参加が望

## 江工会 支部 だより

### 関東支部

#### 関東支部活動報告

支部長 塚 本 清  
(建築科 昭和四十年卒業)



江工会会員の皆様にはご健健に新年をお迎えのこと

と存じます。

た。一方、お家芸であるボート部はインターハイ及び国体で優秀な成績を取めました。就職につきましては、お陰さまで希望者全員が内定をいただきました。他の工業高校が求人数を減らす中、本校は昨年以上の求人頂き、生徒は希望する企業を受験することができました。また、進学は一名が発表を待っている状態です。今の時代に、ありがたいことだと思っています。

末筆になりましたが、江工会がますます充実発展されることを願うとともに、皆様方のご活躍とご健康をお祈り致します。

山口支部

新年を迎えて思う事



支部長 吉崎 錦明  
(建築科 昭和三十一年卒業)

て新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

リーマンショック以来、政治・経済状況も不安定な状態が続いていますが、国の借金は、国民ひとり当たり七百万円になるそうです。次世代に負担を残さないよう政治の力で長期対策を考えて欲しいと思います。年金問題、高齢化



島根県立江津工業高等学校  
江工会 山口支部

が進むと同時に医療費の高騰、介護費等色々な問題がありますが、今年も卵の年、景気が跳ね上がるよう期待しております。何れにしても若者に夢と希望を与え、高齢者が安心して住める社会になる事が理想です。

長男が家を相続する制度がなく、核家族が増え、共働きで子供を産み、第二子、第三子を設けるのは抵抗があるようです。それは第一子を預かる施設が不足しているからです。そこで、二世帯住宅の建設を推奨します。年寄りの経験談や社会の習慣等、小さい時から聞かせることで、年寄りをいたわる心、命の大切さも理解でき、人としての心が出来ます。経済成長を図ると共に、二世帯住宅建設の増進を図り少子化対策になればと思います。

私は今年で74歳になります。元気で認知症にならないで長生きしたいと思っております。人間は腹式呼吸で寝ているようですが、大きな声で笑うのも腹式呼吸。笑う事、カラオケ等で腹から大きな声を出して歌う事は身体に良いそうです。

さて、江工会山口県支部総会も今年で第50回の記念の総

会になりました。これも諸先輩のご努力の賜物と感謝致しております。今年4月16日、久しぶりに母校を訪ね、学校見学して、江工会館で江工会山口県支部総会を開催する予定です。江工会本部の皆様には大変お世話になります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

益田支部

二十二年度

益田支部総会開催



支部長 佐々木 忠之  
(電気科 昭和三十九年卒業)

標題の支部総会を、十一月二十六日(金)益田市

の三好家で開催、出席者は、二十四名でした。

今年度は役員改選の年に当たり、永らく支部長を務めていただきました。田淵支部長が最近体調を崩されたこともあって、辞意を表明されました。後任について協議がなされ、次は建築科以外からと云うことになり、不肖私が推薦され、お受けすることになり

ました。皆さんの協力をいただきながら努めて参りたいと思います。

総会終了後は、何時もの通り懇親会に移り、本部から室安会長、事務局から沖田先生にお出かけをいただきました。会長からは他支部の様子や新支部の発会等の話を聞き、事務局からは学校の現況や、生徒が取り組んでいる課題研究等についての話を聞き、一方では少子化の中、学校の存続問題についてもいろいろと対策を検討されている現況を伺い少し安堵したところです。

例年ですと総会当日にゴルフコンペを開催し、その表彰式を含めた懇親会になるのですが、今回は仕事で都合がつかなくなったり、体調不良の方もあり人数が揃わずゴルフは中止となりました。しかし、一年ぶりの人、初めて参加した人、常連組等々、昔話や現在の状況など話に花が咲きました。

同窓会に出席して何時も感じるのですが、この会が即、当該地区の「異業種交流」の場となることです。それは、建築、機械、化学、電気と各分野の業種に就いておられるか経験者だからです。勿論専

門外の業種で活躍されている方も多く、それぞれが情報交換をし、持ち帰って新しい発想の種が芽生えれば、これ以上のことはないと思います。このような想いもアピールし、今まで不参加の方に呼び掛けて、より多くの方が出席できる雰囲気作りも必要と感じた同窓会でした。



### 弥栄支部

#### 二十五周年を迎え

支部長 三浦 寛章  
(機械科 昭和五十一年卒業)



新春を迎え  
江工会の皆様  
方には益々ご  
健勝のことと  
存じます。

早いもので弥栄支部は二十  
五回目の総会を控えていま  
す。設立時の支部会員十名も  
現在元気で活躍され計二十名  
での支部を構成しています  
が、参加者の顔ぶれは近年固  
定され、旧村内在住の先輩・  
後輩の参加を待ち望んでいる  
のが現状です。毎年総会では  
在住OBが少ない中、参加者  
の出席率は支部一だと自負し



ていますが、総会以外の活動  
(納涼会・交流会等)などは  
一人一人の都合が開催に大き  
く左右され、ここ三年は総会  
だけとなつています。人口も  
少なく高齢化になり、元気が  
なくなりつつありますが、  
二十五年の節目に再スタート  
を切り、三十年、四十年と支  
部を継続し、江工会会員とし  
て地域に貢献していきたいと  
思いを寄せています。

### 江津支部

明けましておめでとう  
御座います。若者に目  
を向け、若者が活躍で  
きる場作り目指して！

事務局 横田 学  
(工業化学科 昭和四十三年卒業)



本年度は、  
江工会会員相  
互の連携を目  
指した取り組

みを推進致しました。特に関  
東支部、関西支部総会に地元  
の会員を出席してもらい新た  
な交流の機会を創りました。  
更には関東支部の森山さんの  
江津市活性化案を江津市に説  
明提案会を開催しました。  
昨年度の重点取り組みはに  
ついて

① 関東支部年次総会出席、2  
月20日(市役所支部前池田  
支部長出席)

② 関西支部年次総会出席、5  
月30日(浜田在住の上野氏、  
江津在住中田氏出席)

③ 関東江工会森山氏江津市活  
性化提案、8月11日(出席  
教育委員会、企画課、商工  
観光課、関東支部勝田副支  
部長等出席)

④ 江工会メンバーの相談事  
(就職・福祉施設・何でも)  
ホロ

⑤ 文部科学省の「目指せスペ  
シヤリスト」支援取り組み  
江工会会員同士の連携と若  
手会員の活躍の場作りによっ  
て、新たな江工会の活力を生  
み出していくことが重要と考  
えています。全国の江工会会  
員の皆様のご意見ご提案を頂  
きたいと思えます。宜しくお  
願い致します。



### 北九州支部

#### 新年を迎えて

支部長 大草 正  
(建築科 昭和三十一年卒業)



江工会会員  
の皆様、明け  
ましておめで  
たうございま

す。健やかに新春をお迎えるの  
こととお慶び申し上げます。  
平成二十年、前支部長大田  
五美先輩の後を引継ぎ九州支  
部長に就任致しました。皆様  
方のご指導ご鞭撻の程、よろ  
しくお願い申し上げます。  
我が九州支部は九州全域を  
対象に活動を行っておりますが、  
目標に発足しておりますが、  
現実にはむずかしく、福岡

市・北九州市・筑豊地方等に  
限られておりますのが実情で  
す。今では会員の皆様方の高  
齢化が進み、会の存続さえ危  
ぶまれる状態です。新会員の  
勧誘を一生懸命考えています  
が、何分にも九州地方への卒  
業生の就職がなく、人気の地  
域ではなさそうで(名簿を調  
べても)ちなみに現会員の中  
で一番若い方で四十年卒業と  
いった具合です。

そんな状況の中、十数年前  
より山口県下関市の会員様と  
交流をさせていただいており  
ます。北九州市門司と下関は  
関門海峡をはさんで八百メー  
トルしか離れておりません。  
行政は違つてもとても近い地  
域です。最近はもつと広げ、  
山口支部及び広島からも参加  
をしていただいております、何と  
か面目を保っている状態で  
す。

政権交代が実現し、少しは  
国も変わつてくるかと期待し  
ておりましたが、どうも悪く  
なつても良くはならないよう  
に思われてなりません。この  
ような政治・経済状況が悪い  
といつても何も始まりません。  
前向きに考え、会員相互の交  
流を深め、会発展のため微力  
ながら努めさせていただきます。

最後になりましたが、江津工業の校長先生を始め、学校関係者の皆様方、どうか九州地方への卒業生の就職斡旋活動をよろしく願いますと共に、更なる母校の発展と江工会の会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 浜田支部

### 支部結成

支部長 松 浦 三 男

(電気科 昭和四十年卒業)



会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

げます。

浜田支部は、去る平成22年6月12日に(再)結成しました。会員21名の出席という小さな船出でしたが、卒業生は江津市在住者に匹敵する数だと想定し、今後(会費)会員拡大に向け取り組んでいきますので、末永く見守っていただきたいと思います。

浜田支部は、江工會資料には従来から掲載されていましたが、私自身その存在すら知らず、活動は何もない状況でした。従来浜田市役所内には

支部がありましたが、近年は江工出身の職員採用もなく会員が減少の一途をたどり、私が退職した平成十九年に解散しました。旧那賀郡内では、弥栄支部のみが実質的に活動しておられる状況です。新浜田支部は、当面年一回集うだけですが、今後いろいろな意見を取り入れ活動していきますので、ご支援をよろしく願います。



ここに役員体制を紹介し

支部長 松浦 三男(E昭40)  
副支部長 横田 雪生(M昭41)  
副支部長 江角 敏和(C昭50)  
事務局長 佐々木敏博(M昭42)  
幹事 道下 文男(M昭45)

幹事 布施 賢司(E昭50)  
幹事 中東多久夫(E昭44)  
幹事 上野 博史(C昭49)  
幹事 岡本 正友(A昭46)  
幹事 植田 和広(A昭50)  
幹事 齋藤 博之(C昭55)  
監事 中田 嘉明(C昭40)  
監査 長谷川 等(M昭49)

## 江津市役所支部

ふるさと江津に

活性化を

支部長 大 井 恭 二

(建築科 昭和四十五年卒業)



新春を迎え会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶

び申し上げます。

さて、一昨年9月の新政権発足来官僚主導から政治主導を掲げ「コンクリートから人へ」をテーマに華々しく掲げられた諸政策も未だ進展の様相もなく、政治経済は依然として足踏み状態から抜出すことが出来ないまま新年を迎えました。

本市でも、超高齢化と少子化が急激に進む中で人口減少に歯止めがかからず目の前に大きな課題を突きつけられています。この超難題の定住促

進や産業振興に如何に取組むか、人口増へ向けた施策展開が求められています。そこで「江津市定住促進ビジョン」を策定し、その課題解決に全庁あげて取組みを強化し目標達成に努力しているところですが、この中には若者の働き場の確保対策に企業誘致の促進策や既存市内企業の競争力強化を支援する取組、又持続可能な地域社会の仕組みづくり対策としてUターン者に遊休農地と空屋改修をセットにした住宅の確保、農山漁村活力再生支援又住民だれもがどこでも安全で快適に暮らせるライフライン等の社会インフラ整備、子供達に科学を通して将来の江津を担う人材育成を図る事業、安心して子供を生育する子育て支援事業など様々な施策を展開中であり、数年後にはこれらの事業が実を結び活力のある江津市の実現を期待しているところでもあります。

話は変わりますが江工會市役所支部は団塊と言われた職員の大量退職に続き、昨年度4名、今年度も4名の退職で総勢29名(市役所18、消防11名)となり一段と寂しくなります。支部としての存続すら不安を抱いておりますが、本

年度より定期的な職員採用をしており、江工卒業生の入所が望まれるところです。我々の活動は、江津市に在住し地域に貢献することであり、今日まで「ふるさと江津」を築き上げた先達のご功績やご苦労に報いる為にも市政の発展に尽力しなければならぬと思っております。遠く江津を離れ都会地で「ふるさと江津」を想い、気を揉んでおられる方々もたくさんおられると思います。どうかお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが会員の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げますと共に我が母校の益々の発展をお祈り申し上げます。



## 平成21年度 江工会一般会計決算書

## 【1】収入の部

費 用	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
1. 繰越金	1,108,387	1,108,387	0	平成20年度一般会計より
2. 会費・入会金	961,200	959,531	△1,669	平成21年度卒業生 (@900×延べ1,066月)
3. 寄付金	10,000	40,000	30,000	佐々木敏博氏、関東支部
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	413	16,516	16,103	預金利息、名簿販売 (@3,000×2) 関西支部 (バッチ代) ¥10,000
合 計	2,080,000	2,124,434	44,434	

## 【2】支出の部

費 用	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	185,000	178,500	6,500	会報44号発行 (2,000部)
記念品費	35,000	31,150	3,850	卒業生へ卒業証書用角筒
会館運営費助成	150,000	150,000	0	会館運営会計へ
2. 管理費				
通信費	30,000	22,360	7,640	案内状、会報発送、他
旅費	350,000	303,382	46,618	支部訪問、他
会議費	170,000	188,308	△18,308	支部総会出席
慶弔費	20,000	8,820	11,180	
雑費	30,000	11,900	18,100	広告料、プリンタインク、他
3. 積立金	0	0	0	
4. 予備費	1100,000	0	1,100,000	
合 計	2,080,000	904,420	1,175,580	

## 平成22年度 江工会一般会計予算書

費 用	本年度予算額	本年度決算額	増△減	摘 要
<b>【1】収入の部</b>				
1. 繰越金	1,220,014	1,108,387	111,627	平成21年度繰越金
2. 会費・入会金	918,000	961,200	△43,200	平成22年度卒業生85名×900円×12ヵ月
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	986	413	573	
合 計	2,149,000	2,080,000	69,000	
<b>【2】支出の部</b>				
1. 工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	185,000	185,000	0	会報45号発行
3. 記念品費	35,000	35,000	0	卒業生へ卒業記念品
4. 会館運営費助成	200,000	150,000	50,000	江工会館運営会計へ
5. 通信費	30,000	30,000	0	案内状、会報発送
6. 旅費	350,000	350,000	0	支部訪問、他
7. 会議費	200,000	170,000	30,000	本部総会、支部総会
8. 慶弔費	20,000	20,000	0	
9. 雑費	30,000	30,000	0	広告料、他
10. 積立金	200,000	0	200,000	
11. 予備費	889,000	1,100,000	△211,000	H21年度より会費積立会計の運用方法変更
合 計	2,149,000	2,080,000	69,000	

# 同窓会

九月十八日

機械科 四十二年卒

(WHIM会)

邑南町(いこいの村しまね)にて二十五名の参加。

大田市の石見銀山に集合し、記念館、龍源寺間歩の見学、周辺散策の後、いこの村に移動。宴もたけなわのなか、お待ちかねの石見神楽に酔いしれて、大いに盛り上がる。

翌朝、二年後とさらに縮めて開催での再会を期して散会。



十一月十四日・十五

工業化学科 三十五年卒

(六期)

玉造温泉「白石家」にて開催。二十五名参加。

千三百年の歴史をもつ玉作湯神社にて古希年賀厄除祭の祈禱をしていただく。

今回の同窓会は、卒業五十年・祝古希という二重の喜びの中で開催できました。

恩師のご臨席も、盆子原利男先生(八十九歳)・安藤

## 23年度総会を開催

江津工業高校教職員OBで組織する工友会の総会を4月24日に江工会館で開催しました。平田義隆会長の挨拶、会計報告に続き、舟木教頭先生より江津工業高校の現況をパワーポイントで詳しく説明していただきました。

文科省指定の「目指せスペシャリスト研究事業」での各科の生徒の活動状況や地域に出かけての作品展示・工作教室・ロボット教室などの取り組み、また、

進路についても景気低迷の中、100%の内定と聞き、生徒の頑張りに安堵すると同

博先生(八十五歳)・山根良孝先生(八十歳)と、祝にふさわしく豪華な顔ぶれとなりました。先生方の挨拶も「この十年の間に七回の同窓会を催すなど君たちの卓越した同志愛は、どの卒業生にも負けないものをもっている。」「私たちの年齢まで生きるためには病気の早期発見、早期治療が大切。」等々三十分にもなるものとなりました。



島根県立江津工業高等学校 建築科「39年度卒業生同窓会」

時に私たちも教職員OBとして江工の良さを地元アピールする一助となればと思いました。

その後、役員改選・写真撮影を経て閉会后昼食弁当をとり、互いに自己紹介を兼ねた近況報告や健康法などの情報交換をし、意義ある会となりました。

役員改選により、22・23年度工友会役員は次のとおりになりました。会員の皆さまのご協力、よろしくお願ひします。

- 会長 平田 義隆(再)
- 副会長 高野 武士(再)
- 高木 嗣夫(再)
- 幹事 井上 正人(再)
- 石川 康収(再)

土井 正人(新)  
真庭 正安(新)  
監事 高橋 稔子(再)  
事務局 佐々木文人(新)

なお、23年度の工友会事業は江津市内で親睦会を計画しています。  
工友会事務局 佐々木文人記



江津工業高校卒業50周年C35同窓会御一行様 迎

十月三十日

電気科 三十九年卒

恩師の先生の参加もあり、久々の再会に昔を思い出した一時でした。

となり、大変盛り上がりました。  
次の日は、陶工・福岡瑋士君の湯町窯に足を運び、すばらしい作品に見入ったり、談笑、商品の購入などでひと時を過ごし、次回宮島での再会を誓い、帰路につきました。  
私達のクラスの物故者七名への冥福を祈りつつ…。  
文責 美濃 茂男

事務局だより

平成二十二年一月〜十二月

二〇二〇年(平成二十二年)二月一日

会報第四十四号発行

県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現旧教職員、在校生、同期会等に配布。

二月二十日 関東支部総会

塚本清支部長はじめ会員八十名の出席、来賓として関西支部と江津支部、島根県東京事務所等から多くが出席。二部の講演会では、東京大学史料編纂所助教西田友広氏より『中世の日本水運と江津』と題して、歴史の書に江津は何時ぐらいついてくるなど、昔の江津について江の川を中心に講演をいただいた。懇親会では山崎ていじ(建築五十一年卒)氏のステージで盛り上がりました。

三月六日 九州支部総会

二十一年度事業・決算報告、二十二年度事業・予算審議。すべての議案が承認され支部会員の動向を確認した。記念撮影後に懇親会に移り、吉崎錦明山口支部長が詩吟を披露され大変に盛り上がりました。

二月二十一日

山口県支部総会

吉崎錦明支部長はじめ会員三十三名の出席(担当山口地区)、来賓として九州支部から四名の出席。懇親

会ではアトラクションとして半月庵の岩国名物「押し寿司」の実演があり会長、支部長、各地区の代表が参加しました。

本部より室安会長・高月事務局長が出席。

二月二十六日 新卒者入会式

江工会入会者(平成二十一年度卒業生八十九名)前江津商工会議所事務局長の永妻寿則氏(電気四十年卒)より「生きること 働くこと」と題して卒業を控えた生徒たちに、自分の経験を元に熱のこもった講話を頂きました。

五月十六日

江工会理事会・総会

二十一年度事業・決算報告、二十二年度事業・予算審議。すべての議案が承認された。総会や懇親会に遠くは益田市・浜田市・川本町から、また旧事務局員の出席などで、二十九名の出席があった。

五月三十日 関西支部総会

橋目福司支部長はじめ会員五十四名の出席、来賓として関東支部から二名の出席。横田学江津支部長・上野博史(工業化学五十五年卒)氏・ふるさと定住

三月七日 弥栄支部総会

三浦寛章支部長はじめ会員八名の出席。プロジェクトでの学校報告で、昔と変

や、南京玉すだれの島根・江津シリーズが演じられ、室安会長・濱田校長の参加もあり、大変な盛会でした。本部より室安会長・濱田校長・高月事務局長が出席。

六月十二日

浜田支部結成総会

三浦三男支部長はじめ会員二十三名の出席。しばらく途切れていた浜田支部の再結成として、会則の決定、役員体制などを確認した。本部より室安会長・高月事務局長が出席。

十一月二十六日

益田支部総会

田淵直徳支部長はじめ会員二十五名の出席。役員改選



謹んでお悔やみ申し上げます

旧職員

盆子原 良友(機械) 渡利 竹延(工化35年卒)

佐々木義昭(電気41年卒) 青笹 衛(機械42年卒)

室岡 隆二(電情12年卒) 細田 克明(電気38年卒)

等が審議され承認されました。新支部長として佐々木忠之(電気三十九年卒)氏が選出されました。懇親会では、雰囲気も良く、大いに盛り上がりました。本部より室安会長・沖田事務局長が出席。

編集後記

多忙な折、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。

おかげさまで第四十五号を発行することができました。一面の写真は富士山と五胡の眺望(関東支部提供)を写したものです。

母校江津工業高校も少子化や理科・工業離れ影響を受け定員を充足できない大変な状況になっておりますが、未来に希望の持てる改革をしていくよう尽力していきたいと思っております。

また、本年度で文部科学省の「めざせスペシャリスト」事業も最終年度を迎え三年間の集大成をぜひ、ご覧ください。なお、今後とも、会報に對しましてご意見、情報等(同窓会報告、会員消息等)がございましたら事務局へご連絡をお願いいたします。